

巻/頭/言

暮らしのクオリティを高める家庭電器の最新技術の特集号に寄せて

Foreword to Special Issue on Latest Technologies of Home Appliances for Improving Quality of Life

永友秀明

Hideaki Nagatomo



三菱電機では、国内外のブランドロゴ統一に合わせて、2014年6月からBtoC(Business to Consumer)製品を中心に、当社の技術や製品のことをもっと皆様に知っていただき利用いただくとの思いから、広告宣伝などを使って“ニクイねえ!”というキャッチフレーズによるアピールを進めています。皆様の生活体験に基づく“こうなったらいいなあ”という夢の実現から、さらにその先の“期待を超えた体験”を提供することで、“ニクイねえ!”と言っただけのものを目指しています。また、持続可能な社会の実現に貢献するために低炭素社会の実現、省資源化、超高齢社会への対応を社会全体が抱える大きな課題と捉えて、2012年から“スマートクオリティ”というコンセプトを掲げて、技術や製品の開発に取り組んでいます。このような背景から、この特集号では“暮らしのクオリティ”をテーマに、国内外の家庭用から業務用に至る幅広い技術や製品を取り上げています。

幾つかの事例を紹介します。“食”の視点では、IHジャー炊飯器“本炭釜 KAMADO”で、かまど炊きのおいしさを徹底的に調査し、内釜形状や含水率と硬さのバランスを工夫して、しっかりした粒感でありながら中はみずみずしい昔ながらのかまどで炊いたごはんの味の再現を追求しています。製品外観は、高断熱構造などのおいしさにつながる機能と、ごはんがよりおいしそうに見えるラウンド型のデザインとして、食事を作るときから食べるときまで楽しんでいただけるよう配慮しています。

“使い勝手”の視点では、負担のかかる家事の1つであるお掃除で、部屋に出しておいて使いたいときにさっと掃除ができる、そんな新しい使い方をコードレススティッククリーナー“iNSTICK”で提案しています。リビングに常時出しておいても違和感のないシンプルでスタイリッシュな外観デザインと空気清浄機能を搭載していることが特長です。またテレビでは、読み上げ機能と音声操作を搭載しました。特に音声操作では、特殊な操作コマンドを覚えなくても、

日常的な発話で操作ができるように新たに認識システムを開発しました。

“エネルギーを創る”という視点では、住宅用太陽光発電システムで発電した電力を住宅内で使えるように変換するパワーコンディショナで、最新技術を盛り込んで変換時のロスを最小限に抑えた高効率な変換を実現しています。

“快適な暮らしの環境を創る”という視点では、当社の成長を牽引(けんいん)する事業の1つである空調冷暖機器があります。家庭用エアコンでは、住宅の窓の大型化に伴い窓上から天井までの隙間が狭くなっている昨今の住宅構造の変化に対応して、高さが250mmの据付けの自由度を高める製品を開発しました。熱交換器など内部のレイアウトの工夫などによって、従来と比べて50mm近く高さをコンパクトにしながら、高い省エネルギー性能はもちろん、フィルタのお掃除機能など皆様に喜ばれる機能も搭載しています。業務用機器では、スーパーマーケットの冷凍ショーケースなどに接続して利用いただく低温設備向けのコンデンシングユニット(室外機)の心臓部品である圧縮機で、質量の削減と大容量化に加え、下限能力を拡大することによる年間消費電力の削減を実現しています。また、これらの業務用機器では機器の更新をいかに負担をかけずに行うかも重要となります。これに対し、昨今の課題である地球温暖化係数が低く環境負荷の少ない冷媒への切り替えを行いながら既設の冷媒配管を利用できるようにするために、高い圧力が配管にかからないようにする運転圧力を制御する技術を新たに開発しました。

このほかにも今まで紹介しきれっていない技術や製品があり、一般生活者のみならず、施工業者やビルオーナーなど幅広い人々に対し、付加価値の高いものを提供し続けていきたいとの思いから開発したものをこの特集では散りばめています。皆様に少しでも“ニクイねえ!”と感じていただければ幸いです。